

平成26年度 茨城県教育研修センター研究発表会 アンケート集計結果

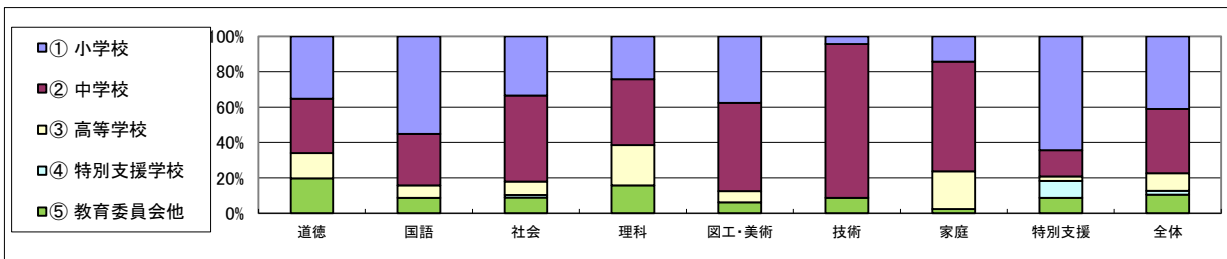
I 各部会、参加人数、回収数及び割合

発表部会	参加者数(人)	回収数(枚)	割合(%)
道徳	91	76	83.5
国語	127	122	96.1
社会	78	71	91.0
理科	70	67	95.7
図工・美術	48	45	93.8
技術	23	21	91.3
家庭	42	40	95.2
特別支援	115	101	87.8
合計	594	543	91.4

II 所属校種

(人)

	道徳	国語	社会	理科	図工・美術	技術	家庭	特別支援	全体	割合(%)
① 小学校	32	70	26	17	18	1	6	74	244	41.1
② 中学校	28	37	38	26	24	20	26	17	216	36.4
③ 高等学校	13	9	6	16	3	0	9	3	59	9.9
④ 特別支援学校	0	0	1	0	0	0	0	11	12	2.0
⑤ 教育委員会他	18	11	7	11	3	2	1	10	63	10.6
合計	91	127	78	70	48	23	42	115	594	100.0



・小学校・中学校の参加者が、全体の77.5%を占めている。
 ・高等学校の参加者が、昨年と同程度の9.9%となっている。

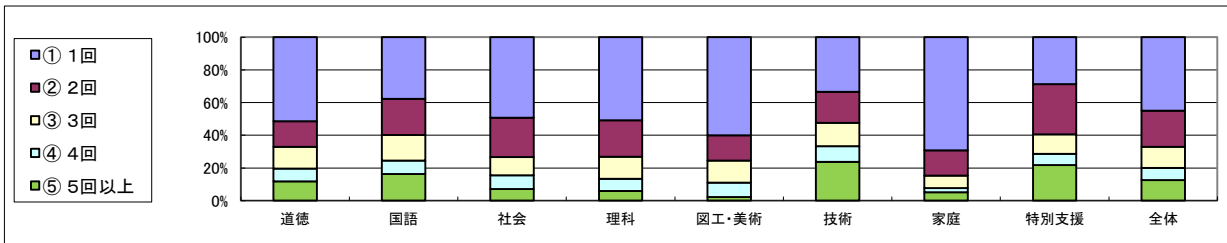
III アンケート質問項目及び結果

1 次の(1)～(5)についてお答えください。

(1) 研究発表会の参加回数(今回も含めて)

(人)

	道徳	国語	社会	理科	図工・美術	技術	家庭	特別支援	全体	割合(%)
① 1回	39	46	35	34	27	7	27	29	244	45.0
② 2回	12	27	17	15	7	4	6	31	119	22.0
③ 3回	10	19	8	9	6	3	3	12	70	12.9
④ 4回	6	10	6	5	4	2	1	7	41	7.6
⑤ 5回以上	9	20	5	4	1	5	2	22	68	12.5
合計	76	122	71	67	45	21	39	101	542	100.0



・今回初めての参加者が、全体の45.0%を占めている。

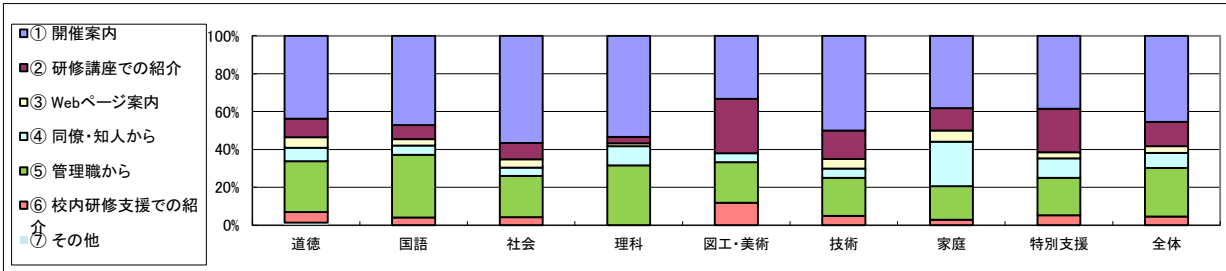
(2) この発表会をどのように知りましたか。

(人)

	道徳	国語	社会	理科	図工・美術	技術	家庭	特別支援	全体	割合 (%)
① 開催案内	31	57	39	32	14	10	13	37	233	44.2
② 研修講座での紹介	7	9	6	2	12	3	4	22	65	12.3
③ Webページ案内	4	4	3	1	0	1	2	3	18	3.4
④ 同僚・知人から	5	6	3	6	2	1	8	10	41	7.8
⑤ 管理職から	19	40	15	19	9	4	6	19	131	24.9
⑥ 校内研修支援での紹介	4	5	3	0	5	1	1	5	24	4.6
⑦ その他	2	1	2	2	3	1	4	0	15	2.8
合計	72	122	71	62	45	21	38	96	527	100.0

その他

- ・市教委イントラからの情報。
- ・内地留学（長期研修）中の情報

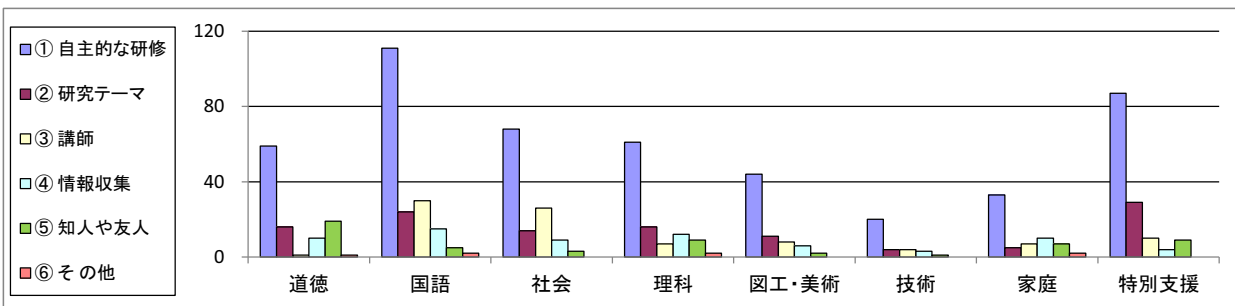


- ・開催案内と研修講座での案内で知った参加者が、全体の56.5%を占めている。
- ・管理職から知らされた参加者が、昨年の28.7%から24.9%に減少している。

(3) この発表会に参加した主な目的は何ですか。(複数回答可)

(人)

(アンケート回答者数)	道徳 (76)	国語 (122)	社会 (71)	理科 (67)	図工・美術 (45)	技術 (21)	家庭 (40)	特別支援 (101)	全体 (543)	割合 (%)
① 自主的な研修	59	111	68	61	44	20	33	87	483	89.0%
② 研究テーマ	16	24	14	16	11	4	5	29	119	21.9%
③ 講師	1	30	26	7	8	4	7	10	93	17.1%
④ 情報収集	10	15	9	12	6	3	10	4	69	12.7%
⑤ 知人や友人	19	5	3	9	2	1	7	9	55	10.1%
⑥ その他	1	2	0	2	0	0	2	0	7	1.3%



※複数回答のため、各分会・全体とも回答者数で示した。割合 (%) については、回答者数543人の中で、各項目の回答数の割合である。

- ・発表会に参加した目的に自主的な研修と答えた参加者は89.0%、次いで研究テーマと答えた参加者は21.9%である。

その他

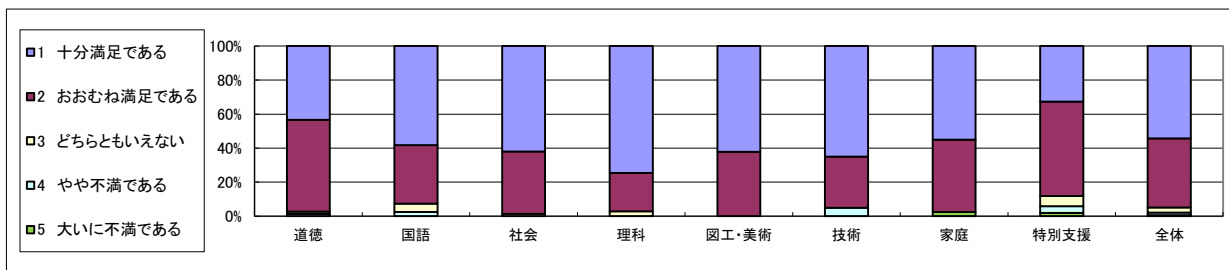
- ・校内研究の関連のため。

2 次の(1)～(4)について、あなたの満足度を次の5段階でお答えください。
また、御意見があれば〔 〕内にお書きください。

(1) 研究発表・実践発表について

(人)

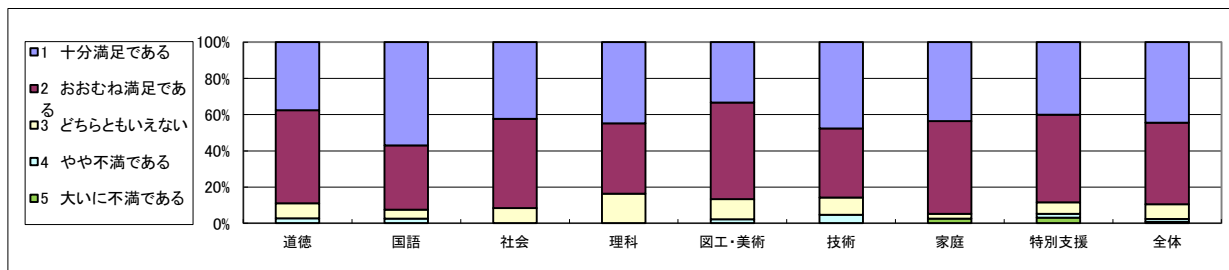
	道徳	国語	社会	理科	図工・美術	技術	家庭	特別支援	全体	割合 (%)
1 十分満足である	33	71	44	50	28	13	22	33	294	54.2
2 おおむね満足である	41	42	26	15	17	6	17	56	220	40.6
3 どちらともいえない	1	6	1	2	0	0	0	6	16	3.0
4 やや不満である	1	3	0	0	0	1	0	4	9	1.7
5 大いに不満である	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0.6
合計	76	122	71	67	45	20	40	101	542	100.0



・「十分満足」と「おおむね満足」が、参加者全体の94.8%である。

(2) 研究協議（演習）について

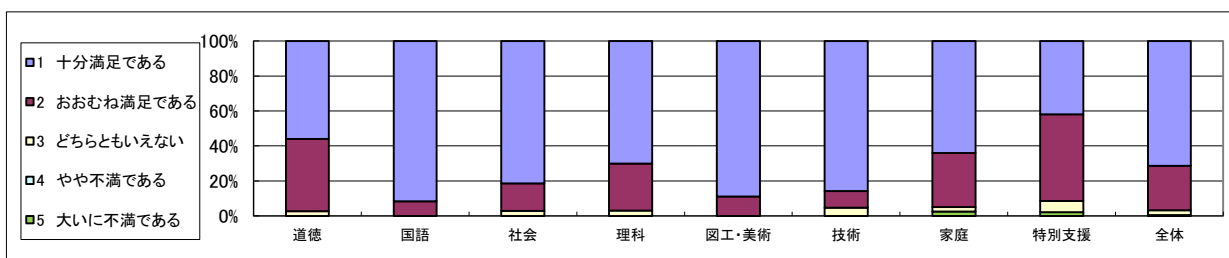
	道徳	国語	社会	理科	図工・美術	技術	家庭	特別支援	全体	割合 (%)
1 十分満足である	27	69	30	30	15	10	17	38	236	44.4
2 おおむね満足である	37	43	35	26	24	8	20	46	239	45.0
3 どちらともいえない	6	6	6	11	5	2	1	6	43	8.1
4 やや不満である	2	3	0	0	1	1	0	2	9	1.7
5 大いに不満である	0	0	0	0	0	0	1	3	4	0.8
合計	72	121	71	67	45	21	39	95	531	100.0



・「十分満足」と「おおむね満足」が、参加者全体の89.4%である。

(3) 講師の講義・指導講評について

	道徳	国語	社会	理科	図工・美術	技術	家庭	特別支援	全体	割合 (%)
1 十分満足である	42	110	57	47	40	18	25	39	378	71.3
2 おおむね満足である	31	10	11	18	5	2	12	46	135	25.5
3 どちらともいえない	2	0	2	2	0	1	1	6	14	2.6
4 やや不満である	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
5 大いに不満である	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0.6
合計	75	120	70	67	45	21	39	93	530	100.0

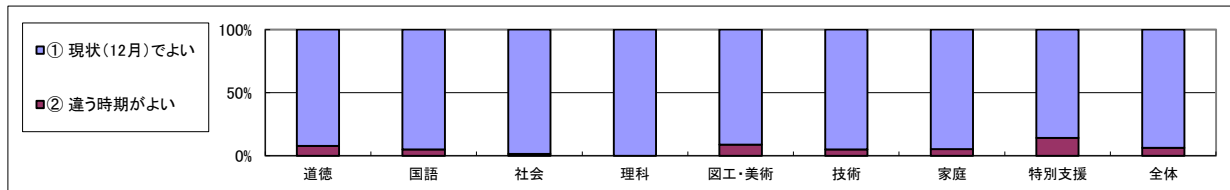


・「十分満足」と「おおむね満足」が、参加者全体の96.8%である。

3 今後の研修センターの研究発表会のもち方についてお伺いします。

(1) 研究発表会の開催時期について

	道徳	国語	社会	理科	図工・美術	技術	家庭	特別支援	全体	割合 (%)
① 現状(12月)でよい	70	114	70	65	41	19	37	85	501	93.6
② 違う時期がよい	6	6	1	0	4	1	2	14	34	6.4
合計	76	120	71	65	45	20	39	99	535	100.0



[違う時期] 1月(1) 2月(3) 3月(2) 5~6月(1) 8月(3) 10月(1)

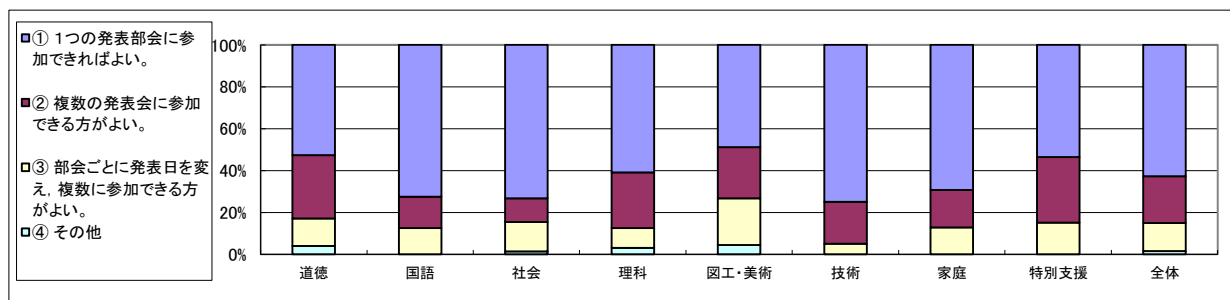
・開催時期については、「現状でよい」が、参加者全体の93.6%となっており、現状の12月でよいと考えられる。

(2) 発表部会の参加方法について

	道徳	国語	社会	理科	図工・美術	技術	家庭	特別支援	全体	割合 (%)
① 1つの発表部会に参加できればよい。	40	87	52	39	22	15	27	53	335	62.7
② 複数の発表会に参加できる方がよい。	23	18	8	17	11	4	7	31	119	22.3
③ 部会ごとに発表日を変え、複数に参加できる方がよい。	10	15	10	6	10	1	5	15	72	13.5
④ その他	3	0	1	2	2	0	0	0	8	1.5
合計	76	120	71	64	45	20	39	99	534	100.0

その他

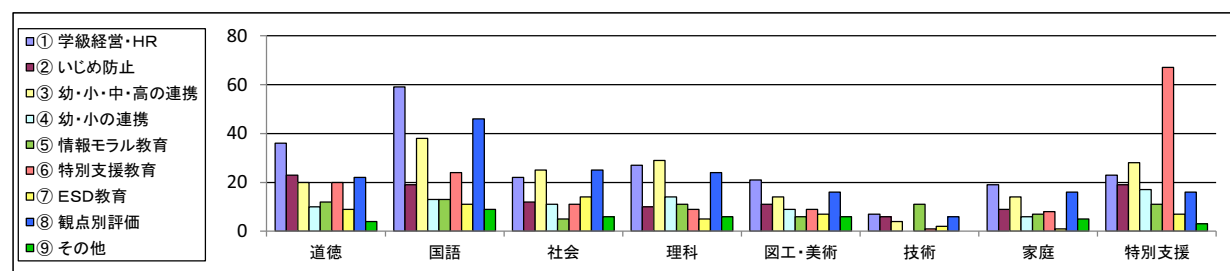
- ・教科は同日でも、道徳と特別支援は別日にしてほしい。
- ・部会毎に発表日を変える。駐車場と交通渋滞を考慮したほうがよい。
- ・小学校は複数日。中学校は1日。
- ・他教科も含め、自由に回れるような発表会がよい。
- ・今回の研究発表は、どれも内容が良かったので、じっくり1日開けて良かった。



・参加方法については、1つの部会に参加できればよいが、参加者全体の62.7%となっている。

4 今後の研修センターの研究内容として取り上げてほしいものは何ですか。(複数回答可) (人)

(アンケート回答者数)	道徳 (73)	国語 (114)	社会 (69)	理科 (64)	図工・美術 (44)	技術 (19)	家庭 (39)	特別支援 (96)	全体 (518)	割合 (%)
① 学級経営・HR	36	59	22	27	21	7	19	23	214	41.3%
② いじめ防止	23	19	12	10	11	6	9	19	109	21.0%
③ 幼・小・中・高の連携	20	38	25	29	14	4	14	28	172	33.2%
④ 幼・小の連携	10	13	11	14	9	0	6	17	80	15.4%
⑤ 情報モラル教育	12	13	5	11	6	11	7	11	76	14.7%
⑥ 特別支援教育	20	24	11	9	9	1	8	67	149	28.8%
⑦ ESD教育	9	11	14	5	7	2	1	7	56	10.8%
⑧ 観点別評価	22	46	25	24	16	6	16	16	171	33.0%
⑨ その他	4	9	6	6	6	0	5	3	39	7.5%



※複数回答のため、各部会・全体とも回答者数で示した。割合 (%) については、回答者数518人の中で、各項目の回答数の割合である。

・研究内容として取り上げてほしいものに、学級経営・HRと答えた参加者は41.3%、いじめ防止と答えた参加者は21.0%である。

その他

- ・コミュニケーション能力について、アンガーマネジメント等について
- ・ICTの活用 (タブレット等)
- ・部活動の在り方や実際
- ・アクティブラーニングについて
- ・高校と大学の接続と到達度テストに向けた取組
- ・学校経営 (研修、校務の偏り)